

第1回 新病院建設基本構想

市民ワークショップ通信

～ みんなで考えよう あなたのまちの市民病院 ～

6月21日（土）に新城市民病院外来棟2階で、市民や消防職員、市役所職員、市民病院職員等45名の方にご参加いただき「第1回新病院建設基本構想市民ワークショップ」を開催しました。

当日は、市長や院長からの挨拶に続き、資料（スライド）をもとに市民病院の現状と課題、取り組み等について説明を実施しました。また参加の皆様には当院の実状を知っていただくため、院内ツアーを実施しました。

※十分な感染症対策や熱中症対策を実施し、市民ワークショップを開催しております。

1 開会

当院の建替えを検討するにあたり、市民に市民病院の現状を知ってもらい、どうあるべきかの思いをお聞きし、「市民が創り支える病院」となるように本ワークショップを開催しました。第1回目では、当院の現状を知っていただくため、現状の概要説明や院内ツアーを行うことを説明しました。



2 グループ内自己紹介

8つのグループでそれぞれ自己紹介を行っていただきました。市民や消防職員、市役所職員、病院職員が混合したグループで顔を合わせ、互いに認識を深めました。



3 当院の現状と課題の説明

当院の概要、現状を参加者の皆様に理解いただくため、これまでの市民病院の沿革や、現在どの程度老朽化が進んでいるか等の説明を実施しました。

また、再整備が検討されるまでの経緯として、施設劣化調査やあり方検討会が実施されたこと、その報告書について市民や有識者から意見聴取を実施したこと、また新城市の将来推計人口、財政状況を提示しました。加えて、災害訓練や救急医療、医療人育成等、当院が取り組んでいる内容についてもご紹介しました。

【目次】

1. 新城市民病院の概要
2. 新城市民病院の主な沿革
3. プロローグ
4. 新城市民病院を取り巻く環境
5. 数字でみる新城市民病院
6. 新城市民病院の取り組み
7. ワークショップで考えて欲しいこと



4 グループディスカッション

当院の現状と課題の説明（③ 参照）をふまえ、各テーブルでそれぞれの参加者が新病院に求める機能、設備について意見を出し合いました。どのグループでも積極的に意見や質問が飛び交い、市民の方々の強い思いが伝わるディスカッションとなりました。



5 院内ツアー

ディスカッション終了後は、4グループに分かれて院内ツアーを実施しました。手術室やボイラー室、CT・MRI機器室、当直室、屋上等、普段利用していても入ることのない場所を見学していただくことができました。

同時に、当院のどの場所で老朽化が進んでいるか、どのような点が改善すべきかという点もご理解いただける機会となりました。

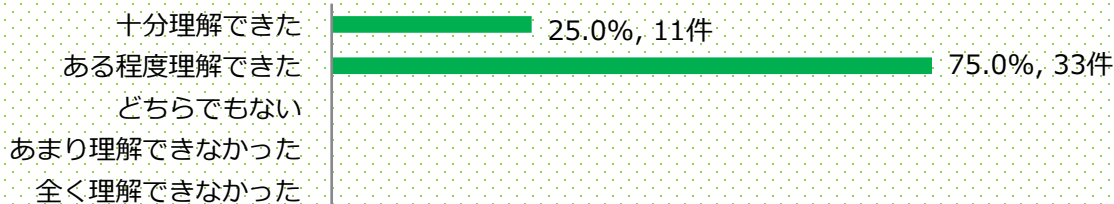
長時間の見学となりましたが、無事に計画していた範囲をラウンドすることができました。



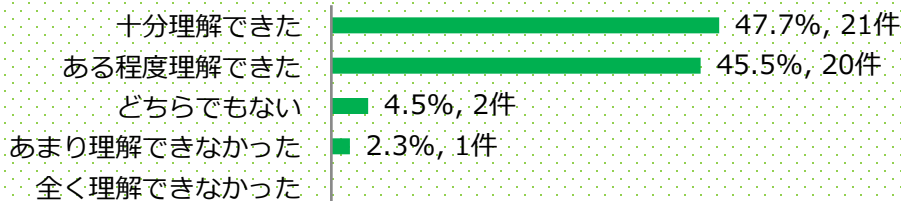
6 アンケートの実施

ワークショップ終了後、参加者の皆様に、理解や共感の程度を問うアンケートを実施しました。44名の参加者から回答をいただきました。回答結果を以下に記載します。

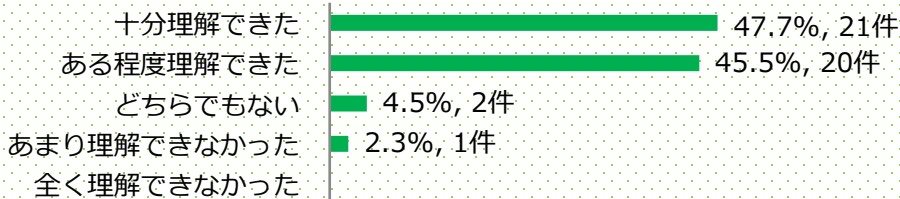
問.新城市民病院の現状について理解できましたか。



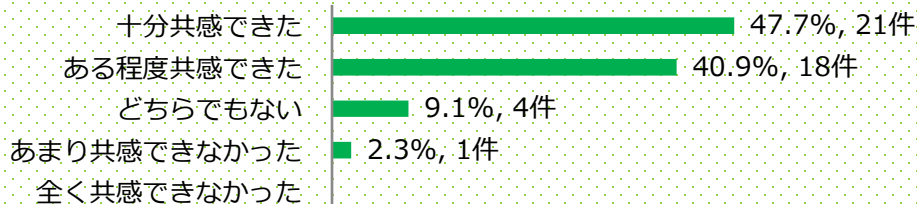
問.新城市民病院の課題について理解できましたか。



問.建替え事業の必要性について理解できましたか。



問.建替え事業に対する取り組みに共感できましたか。



別紙① 新城市民病院 第1回市民ワークショップ 終了時アンケート 自由記載欄のご意見一覧

問_自由記述の内容	
1	・様々な制限や考えることが多い中、必要な規模・機能等考えることが多く大変な作業だと思います。私も精一杯頑張ります。よろしくお願いします。
2	・病院が老朽化しているのはわかるが大切なのはやはり医師がいることなので、それが昔入院した時のように、総合病院として機能することが大事だと思う。（建替えありき、ではなく各科の医師の確保が第一だと思うが。（何回か入院したことを思うと昔は医療体制が整っていたような、、、）
3	・建物規模、財源等が課題？ ・北部医療圏唯一の入院できる病院として必要！
4	・新しい発見があります。でも具体的にはまだこれからです。屋上から見える景色はよそ者の私ですが感動しました。医師を迎えるにあたりこの良さを是非みせて下さい。
5	・外来患者の人数は、もっと少ないような気がします。最低限の医療機器や設備だけでもかなりのモノが必要ですね。市民の安心を支える市民病院の新設。大きな課題であると実感しました。
6	・空き部屋は多いことがわかった。現状を見て、改善店や工夫がないかと思ったが、移転・新設ということなので、働きやすいということや効率的ということに目を向けていく方向かと思った。動線も重要かと思った。 ・病院として収入UPをはかる方法はないか。
7	・医療、福祉、介護、保育、教育、療育など複合的な視点が反映できるといいなと思いました。病児保育・病後児保育など医ケアなど。 ・お金がないならサイズを小さくする必要 ・建物だけではなく機材も必要と分かりました。
8	・地域の生き残りを考えた新市民病院のあり方を考えてほしいと思いました。 ・市民としても、考えます。（病院のことだけでなく。）
9	・感想です。大人の社会見学はとても興味深かったけれど、とてもハードでした。
10	・建て替え（新築）の必要性は理解できるが、インフレで、資材、人件費高騰の中、デフレ時に計画したものからは改善されることを願います。スマートインター（新城・富岡）の説明会でも、同じ問題点が浮き上がったので、二の舞に新市民病院がなってほしくない。建設費は物価高に苦しんでいる市民（県民・口民）の血税であることをくれぐれも忘れてほしくはない。
11	・説明がかけ足で十分理解できなかったと感じた。建物の状況については、実際に回ってよくわかったと思う。
12	・今後の人口減少を考えると、コンパクトでありながら充実した病院であってほしい。遠くの病院に通院することは、高齢化により、難しくなることも考えて。
13	・多くに市民に今回のように現状を知ってもらえば、もう少し理解を得られるのではと思います。なるべく早く…と思います。
14	・院内の行ったことがない所まで見学させてもらいました。建て替えとなるとかなりの部屋が必要になるのかと考えました。
15	・とにかくがんばってほしい。利用者としても。
16	・院内ツアーで細部まで見せていただきました。老朽化と共に、機器が増える中でスペースが足りていないのではないかと感じました。
17	・見たことない所へも行けて、楽しかったです。
18	・建てた時から運用、終結迄の費用も含み初期設計が必要と思いました。
19	・公立病院ですが、市立ではなく県立の可能性はゼロ（0）ですか。
20	・院内案内は初めて入るところも多く、参考になりました。やはり、老朽化の現状は目の当りのすると今からでは遅いくらいの状況だということが判りました。ありがとうございました。
21	・時間が押してしまい、最後までみなさまと一緒に回れませんでした。残念、、。
22	・新城市にあった病院を建替える
23	・資料がわかりやすくできていて、十分理解ができる。家族・友人にも見せて、多くの意見を聞いて次回のワークショップに備えたい。
24	・古い病棟と新しい病棟の施設の歩き回って、通路の歩き易さ、壁の床の色合いもちがって、古い方は建て替えが必要なのかな？と思いました。新しい棟はまだ使えそう…何か他の利用できないかな～と思いました。
25	・未使用な部分が多いので難しいですね。どうまとめて行くのか。

第1回の市民ワークショップでは、市民の方々に現状を理解いただき、建替え事業の必要性にも共感していただきました。

第2回は令和7年7月26日の開催となります。「市民病院に期待する役割・機能は？」「どのような施設、設備、サービスを望むか？」をテーマに、より深く掘り下げて議論いただきたいと考えております。